

不動産経済通信 2013年1月16日

タイトル

トーセイ、AUMが3,000億円台に一取得を積極化、オフィスの新規開発も

記事概要

トーセイの12年11月期末時点のAM受託資産残高が3,000億円を突破し、過去最高となった。投資需要の高まりを受け、今後、収益ビルなどの仕入を積極化するほか、新たにオフィスビル開発や商業施設を含めた中・大型物件への投資の本格再開を検討する。

山口誠一郎社長は「リートを中心としたコア型投資の高まりをみた海外投資家の意欲が高まっている。これまでオポチュニスティック系の投資家が求めていたディストレスト案件はあまり出なかったが、グローバル比較による東京のイールドギャップの高さなど、リスク見合いが見直され、オポ系の投資家がコアやコアプラスにクロスしてきた。今後、コア、コアプラス型投資が加速する」とみる。

現下の投資需要も強く、金融危機後に仕入れてバリューアップした「目黒駅前トーセイビル」、新規開発した「蒲田トーセイビル」を今期に入り早々に売却した。一方、14年11月期を最終年度とする中期経営計画ではエンド向け商品拡充も掲げており、今期は分譲マンション約100戸、戸建て約110戸を計上するなど足元も固める。

※当社掲載記事のご紹介は、当社をご紹介いただいた記事の掲載内容を要約したものです。情報源となる記事の一切は、トーセイ株式会社が作成したものではありません。

トーセイ株式会社 経営企画部

東京都港区虎ノ門4丁目2番3号 虎ノ門トーセイビル

Tel 03-3435-2864 Fax 03-3435-2866

URL:<http://www.toseicorp.co.jp> Mail:pr-tosei@toseicorp.co.jp